

受験番号

氏名

二〇二五年度

武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科

一般選抜第二回入学試験

二〇二五年三月一三日実施

国語 (一〇〇点 六〇分)

注意事項

- 一 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 監督者の「解答はじめ」の指示があった後、速やかに問題冊子と解答用紙の両方の所定欄に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 三 この問題冊子は、8ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 四 解答は、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。
- 五 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六 不正行為について
 - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意をするので従いなさい。従わない場合には、不正行為とみなされる場合があります。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
- 七 試験終了後、問題冊子は回収します。

第一問 次の傍線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- (1) 土着の神を信仰する。
- (2) 仰せに従って準備をする。
- (3) 選考の脅威にさらされる。
- (4) 日常の安全が脅かされる。
- (5) 表面に特殊な加工を施した紙だ。
- (6) 花の中では殊にバラが好きだ。
- (7) ここは窯業が盛んな土地だ。
- (8) 全国の窯元を訪ね歩く。
- (9) 社長宅に伺候した。
- (10) ご機嫌伺いに参上いたします。

第三問

(1) から (2) は、示されていることわざや慣用句などが意味する内容を選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。(3) から (5) は、示されている意味をあらわす慣用句やことわざなどが成り立つように、括弧の中に挿入すべき適切な語句を漢字で答えなさい。

(1) 気が置けない。

ア 気を使わないでいい。

イ 気を許せない、油断できない。

ウ 気配りや遠慮をしなくてはならない。

(2) 枯れ木も山のにぎわい。

ア 枯れ木のようにつまらないものでも集まればにぎやかになる。

イ 枯れ木のようにつまらないものもあるだけましである。

ウ 年寄でも大勢集まればにぎやかになる。

(3) 指図する人が多過ぎるとかえって統率がとれず意に反した方向に物事が進んで行く。

() 多くして船山に登る。

(4) 前もって用心していれば、失敗することがないというたとえ。

転ばぬ () のつえ。

(5) 一度起きたことは元に戻すことができないこと。

() 盆に返らず。

第四問 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(1) 空欄 (A) に入る語句として、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア はなはだしい イ よそよそしい ウ おこがましい エ しらじらしい

(2) 空欄（ B ）と空欄（ D ）に入る語句の組み合わせとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア B ..単なる D ..とうてい

イ B ..簡単に D ..きわめて

ウ B ..いわゆる D ..決して

エ B ..いわば D ..まったく

(3) 傍線部① 『先生、一緒に飲みに行こうよ』と話しかけてくることになります。」とあるが、筆者が言おうとしていることは何か。最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア うっかり教師を友達と間違えて話しかけてくる。

イ 教師にも友達のように親しい気持ちを表してくれる。

ウ 友達のように教師とも親交を深めようとする。

エ 人を選ばず学生言葉や若者言葉だけで話してしまう。

(4) 空欄（ C ）に入る語句として、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 判断 イ 印象 ウ 言葉遣い エ 気持ち

(5) 傍線部②「ストラテジー」の日本語の意味を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 話し方 イ 運用 ウ 方策 エ 武器

(6) 空欄（ E ）に入る語句として、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 荒唐無稽（こうとうむけい）

イ 慇懃無礼（いんぎんぶれい）

ウ 尊大不遜（そんだいふそん）

エ 狂言綺語（きょうげんきご）

(7) 傍線部③「言語形式の丁寧度は低くても、『ポジティブ・ポライトネス』になるという捉え方を前面に打ち出す」とはどういうことか説明しなさい。

(8) 傍線部④「敬語以外の言語行動（あいづち、スピーチレベルのシフト操作、終助詞の使用、話題導入の頻度や割合、前置きの有無等々）と関連付けながら研究していく必要があります。」とあるが、なぜそのような研究が必要なのか「ポライトネス」の観点から説明しなさい。

(9) 本文をふまえて、あなたは対人コミュニケーションを円滑にするには、どうすればいいと考えるか一五〇字以内で述べなさい。

受験番号

氏名

第一問 (各2点)

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
し	よう	しゅ	きょう	こう
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
うかが	かま	こと	おびや	おお

※6

※5

第二問 (各2点)

(5)	(3)	(1)
ア	ウ	エ
	(4)	(2)
	エ	イ

第三問 (各2点)

(5)	(3)	(1)
覆水	船頭	ア
	(4)	(2)
	先	イ

※2

※1

